

ドラマ・映画制作の舞台裏



ドラマ「カムカムエヴリバディ」の撮影現場

NHK で「カムカムエヴリバディ」「まんぷく」「べっぴんさん」など数々のドラマを手がけたプロデューサー・堀之内礼二郎氏が、制作現場の舞台裏を語ります。視聴率 20%超えを記録した作品はどのように生まれたのか？ 撮影現場の苦労や思いを届けるための制作チームの情熱。ドラマファンはもちろん、ものづくりに携わる全ての方に届けたいお話です。



堀之内礼二郎
ミナトスタジオ代
表プロデューサー

1979年、宮崎県出身。NHK で様々な番組制作に携わる。2012年にロサンゼルスでハリウッド流プロデュース術を学んだ以降は、プロデューサーとしてドラマ作品を制作するようになる。2025年、NHK から独立してミナトスタジオへ。NHK 在籍時の主なプロデュース作品に連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」(第47回エランドール賞プロデューサー賞)「まんぷく」「べっぴんさん」、大河ドラマ「花燃ゆ」、土曜ドラマ「心の傷を癒すということ」(第46回放送文化基金賞ドラマ部門最優秀賞)など。2025年、阪神・淡路大震災から30年の節目に、震災の年に生まれた主人公の心の再生を描いた映画『港に灯がともる』をプロデュースした。

日時 4月4日(土) 午前10時～11時30分

会場 芦屋市民センター本館401室 住所：芦屋市業平町8-24

定員：先着90名(事前申込は不要です) 受講料：無料

お問合せ先：芦屋市立公民館 TEL0797-35-0700 主催：芦屋市